2024.10.26　気候市民会議まつもと

“地域にあるものを活かすくらし”を目指して

自然エネルギーネットまつもと（エネットまつもと）代表　平島 安人

自然エネルギーネットまつもと

- 略称：エネットまつもと
- 設立：2012年２月15日
- 会員：16名（松本地域中心、諏訪地域からも）
- 代表：平島 安人
- 会費：年会費2,000円、入会無料

- ホームページ、Facebook、広報紙 action で情報発信
  - https://www.enet-matsumoto.net/index.html
  - https://www.facebook.com/enet.matsumoto
- 運営会議：毎月第2木曜 19:00～20:30（市民活動サポセン）
- 会員メーリングリストで意見交換、情報共有

設立趣意書（2012.2.15）

- 私たちが使えるエネルギーはどのくらいなのか、私たちが暮らす松本地域のエネルギーはどうあるべきか、持続可能な社会とはどのようなものか―。
- こう考えているときに2011年3月11日の東日本大震災が起こりました。それに伴う原子力発電所の事故は、今もひとの人生や地球環境に甚大な被害を及ぼし続けています。「原子力と持続可能な社会は相容れない」と多くの人が意識しました。なによりも、日々使うエネルギーへの私たちの「無関心」と、他人任せの「集中型発電システム」が、このような惨事を招きました。
- 「松本地域の特性を活かしたエネルギーとは何か」を私たち一人ひとりが、「我がこと」として常に意識し、自然エネルギーを、その意義や役割を明確にしながら普及させることが必要です。
- 私たちは、その実現のために「自然エネルギーネットまつもと」を設立します。

設立経緯

- 2011.1　自然エネルギー信州ネット設立構想（“新しい公共”支援を活用）
  - 新しい公共：官だけでなく、市民、NPO、企業などが積極的に公共的な財・サービスの提供主体となり、教育や子育て、まちづくり、介護や福祉などの身近な分野において共助の精神で活動
- 2011.7.31 信州ネット設立、設立総会開催
  - 全県共通案件は信州ネット
  - 具体的取り組みは地域ごとに → 地域協議会立ち上げ
  - 松本地域（3市5村）の取りまとめを平島が引き受ける
- 2011.6～　松本地域学習会2回、設立準備会4回
- 2012.2.15 自然エネルギーネットまつもと設立

活動スタイル

主な活動

- 啓発・普及、提案・提言、環境教育
- 全ての活動の基調にあるのは啓発や情報提供・発信
- 事業は行っていない（専従者なし、会員はそれぞれ職業がある）
- 「地域にあるものを活かすくらし」実現が最大目的、自然エネルギー普及はそのために必要な有力手段のひとつ

2024年度の活動方針・活動項目

1. 「**井戸端かいぎ**」と「**11のことバージョンアップ**」を軸とした活動を進め、よりよい社会のビジョンを描く
2. 暮らしやすく、魅力があり、少ないエネルギーで成立する松本地域という総合的な観点から考え、発言する人を増やす
3. 適切な事例やデータ・情報の市民への提供、裏付けある提案
4. 地域を拠点に活動するグループや個人とのネットワーク作り
5. 学習会活動、木質バイオマス普及活動、情報発信・広報活動、学校向け環境学習、講演・講義を確実に継続実施

啓発・普及

- 講演会、セミナー、シンポジウム、市民フォーラム
- 映画上映会
- 気候アクション in まつもと
- 環境関連イベントへの出展
- ゆっくりのんびり中町「ホコ天×エコ展」
- ロケットストーブ作りワークショップ
- 木質バイオマス普及イベント
- SDGsセミナー

提案・提言

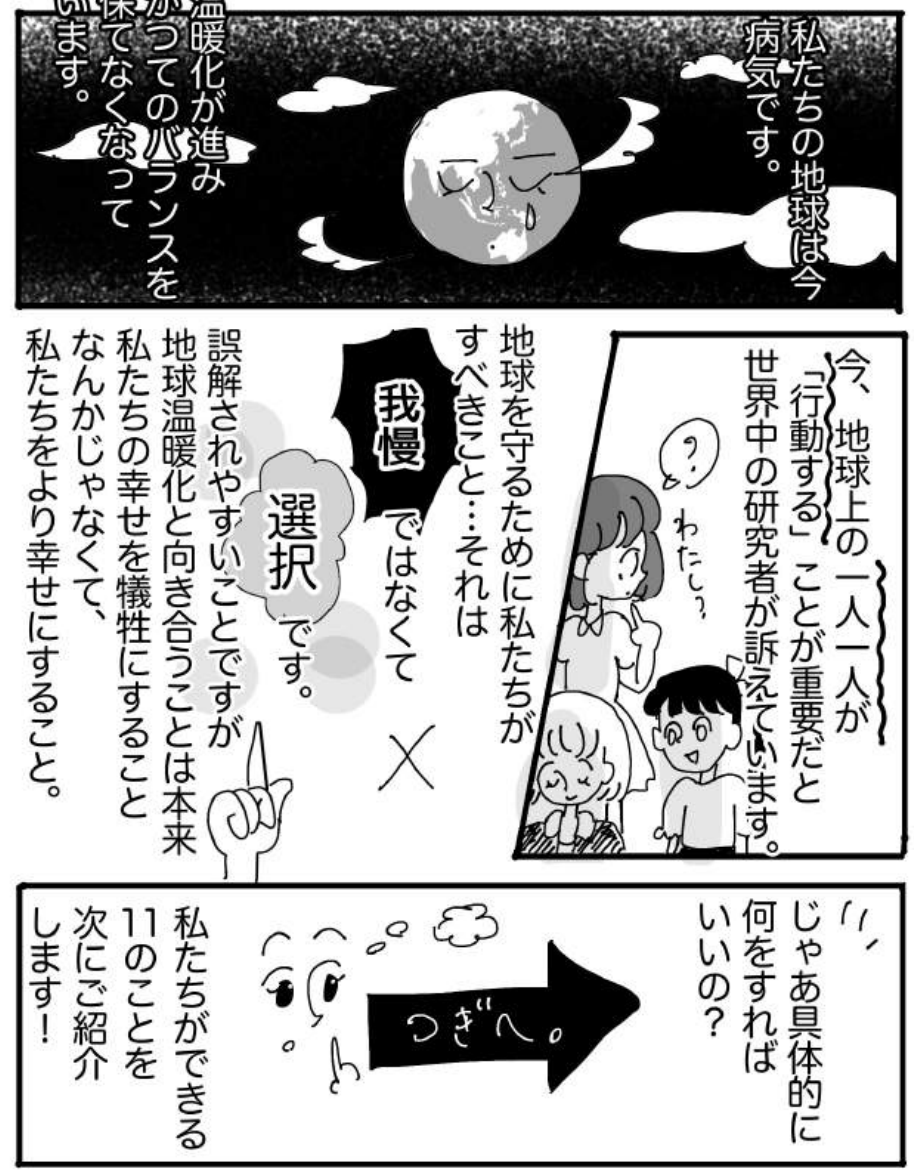
- 2018年2月　松本市立病院建設基本計画（案）へのパブリックコメント提出
  - 自立型電源・熱源の導入、再エネ導入、高レベルな断熱性能の建物
- 2020年2月　松本市議会に気候非常事態宣言の請願を提出
  - 2月定例会　継続審議
  - 6月定例会　全会一致で採択

- 2020年12月　松本市気候非常事態宣言 ～2050ゼロカーボンシティを目指して～

環境教育

- 毎月1回の学習会を開催（COVID-19で一時的に休止）
- 中信地区環境教育ネットワークメンバーとして小中学校での環境教育実施
- 会田中、会田小、清水小、四賀小（諏訪市）、米沢小（茅野市）、はらむらエコキャンパス（原村）
- 信州大学 経済学部　連続講座「資源経済学入門」
- 松本地域振興局からの依頼：松本地域の教員を対象にした（一般参加もOK）ゼロカーボン研修の企画・講師（2021年度～）
  - 10/31 白馬インターナショナルスクールで開催、参加受付中
- 茅野市からの依頼：職員向けゼロカーボン研修、SDGs研修

地球のために私たちができる11のこと



①マイバッグ・マイボトルを持って使い捨て習慣を減らそう！

私たちは、物を作る時にも捨てる時にも多くのCO2を排出しています。
使い捨て習慣をちょっと変えるだけで、ゴミを減らして資源を守ることができ、CO2の削減に大きく繋がります！

②プラスチックの使用量を減らそう

日本はプラ容器包装の使用量、世界第2位です。
プラスチックはCO2排出の多い代表的な素材で、製造時や処分時にはもちろん、リサイクル時にも大量のCO2が排出されることが分かっています。
なのでまずは使用量を減らすことが必要です。
プラスチック汚染から生き物の命を守ることにも繋がります！

③買い物を考えてみよう、変えてみよう！

これは本当に必要？すぐゴミにならない？安全な過程で作られている？環境に優しい商品？などなど…
買う前にもう一度考えてみましょう。安く大量に売られている物の裏には途上国の児童労働の上に成り立っている商品が実はたくさんありました。
…洋服、カカオ、パーム油、コーヒーなど。
今より意識を広げて、買い物を「選ぶ」意識を持ちましょう！

④お洋服を1~2シーズン長く着よう！

ファストファッションが生まれてから私たちはこれまでの2倍もの服を持つようになりました。
そして使用期間は半分に…。
世界中の人が一枚の服を1~2シーズン長く着ることで、服の製造によるCO_2排出を約24%も削減することができます！着なくなった服をシェアしたり、古着を選ぶこともとっても効果的！

⑤お肉や乳製品を減らそう！

地球温暖化の要因の一つに畜産が挙げられています。
放牧・飼料生産のために大規模な森林伐採が行われており、
また、牛の発生させるメタンガスはCO2よりも温室効果が高いです…。
畜産を考えることは、環境問題とは切り離せないもの。
お肉の需要が少しでも減ることが、地球を守ることにつながります。

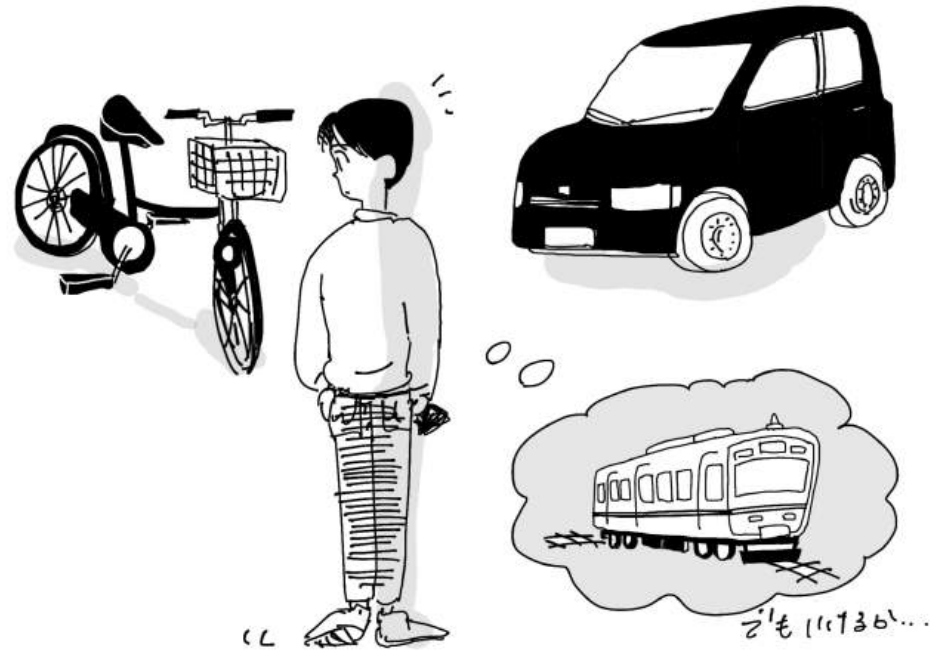
⑥できるだけ地産地消を心がけよう！

現在、日本の食料自給率は38%。
地元産のものを意識して選ぶことで食料自給率が上がり、
日本の農業を守ることに繋がります。
また輸入量が減れば、その運搬にかかるCO2排出を減らすこともでき、まさに良いこと尽くし。
スーパーに行ったらまず地元産コーナーをチェック！

⑦節電をしよう！電力を考えよう！

我が国の電力は主に火力発電によって賄われています。
節電をすることで、発電に由来するCO2排出を削減できます！
また、太陽光発電の導入を検討したり、電力会社を再生可能エネルギー重視の会社に切り替えたりするのも効果的。

⑧なるべく公共の移動手段を選ぼう！

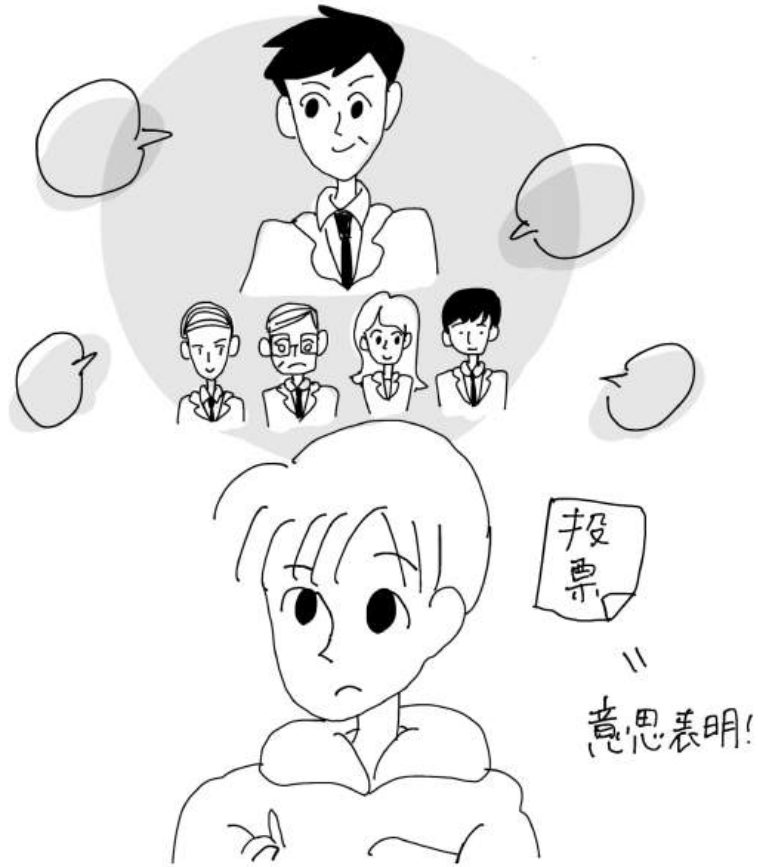


地方の生活では難しいかもしれませんが、近くだったら歩いてみようかな？自転車を使ってみようかな？と少しでも心がけることが大切です。その分、CO2の排出を確実に減らすことができます！
あなたの一回一回の選択はやがて大きな積み重ねとなり、車社会の雰囲気を変えていく大きな力にもなります。

⑨お店や企業、行政機関に声を届けよう！

たとえば「〇〇商品の梱包をもっと減らしてほしい！」
「リサイクルに力を入れてほしい！」などと、あなたの
要望やアイディアを直接伝えてみましょう！
企業・政府のホームページやお店の意見箱…。
意外と簡単に声を届けることができます。
社会は私たちの求める声でできています。
声が増えれば増えるほど、社会は変わりやすくなります!

⑩選挙に行こう！政治家を「選ぶ」自覚を持とう！



政策を実行するのは政治家の方々です。
そしてその政治家を選んでいるのは紛れもなく、私たち。
投票は、意思表明の大きな手段です。
政策を見極めて、意識的に投票しましょう！

⑪少しの手間と苦労を楽しもう！

簡単、早い、安い、便利、清潔！
これらを追い求め過ぎる私たちの行動が、今の大量消費社会を作り出してきました。
少しの手間で優しい選択をすることができます！

～1人の100歩より100人の1歩～

イラスト:Fuki(@fuki_bee_stripes)
＊Thanks for…情報提供:ナツミさん(長野県松川村在住)

地球のために私たちができる11のこと

①マイバッグ・マイボトルを持って使い捨て習慣を減らそう！

私たちは、物を作る時にも捨てる時にも多くのCO2を排出しています。
使い捨て習慣をちょっと変えるだけで、ゴミを減らして資源を守ることができ、CO2の削減に大きく繋がります！

～1人の100歩より100人の1歩～

イラスト:Fuki(@fuki_bee_stripes)
＊Thanks for…情報提供:ナツミさん(長野県松川村在住)

会員の取組事例：営農発電、環境メッセージ

- 松本市四賀地区で営農発電（ソーラーシェアリング）開始
- 信州 Sustainable 通信発行：http://www.sustainable.ablegroup.co.jp/

松本エリアの未来を
みんなでワイワイ考える
ワークショップ！
どうする松本
「井戸端かいぎ」
サステナブルシティってどんなまち？
第1回 井戸端かいぎ
移動や交通について考え・アイデアを出し合おう！
日時 2023年11月26日(日)
10:00~12:00
会場 中町・蔵シック館 会議室2

松本エリアの未来を
みんなでワイワイ考える
ワークショップ！
どうする松本
「井戸端かいぎ」
サステナブルシティってどんなまち？
参加者募集
第2回 井戸端かいぎ
2回目の井戸端かいぎは、体験話を持ち寄って共有！
「いつもと違う移動・交通手段の体験&アイデア」のおしゃべり会です。
日時 2024年1月21日(日)
10:00~12:00
会場 松本市市民活動サポートセンター

松本エリアの未来をみんなでワイワイ考える
ワークショップ！
どうする松本
「井戸端かいぎ」
サステナブルシティってどんなまち？
第3回 井戸端かいぎ
第3回目の井戸端かいぎは、本質に迫るワークショップ！
サステナブル&サステナブルシティについて考える！
参加者募集
日時 2024年3月24日(日)
10:00~12:00
会場 松本中町 蔵シック館 会議室2
今さらだけど
今だからこそ
ちゃんと考えたい
「サステナブル」
!?
【参加：無料】
みんなで、未来につながる「まち・社会・暮らし」について考えましょう！

松本エリアの未来をみんなでワイワイ考える
ワークショップ！
どうする松本
「井戸端かいぎ」
サステナブルシティってどんなまち？
参加者募集
第4回 井戸端かいぎ
① サステナブルであるためには、どうなっている未来がよいか。
② 未来のためにどのような問題があるか、取り組みたい課題は何か。
日時 2024年5月26日(日) 10:00~12:00
会場 松本市立博物館 交流学習室
長期的な「未来ビジョン」って大切。
だからこそ、絵に描いた餅にならないものを。
!?
【参加：無料】

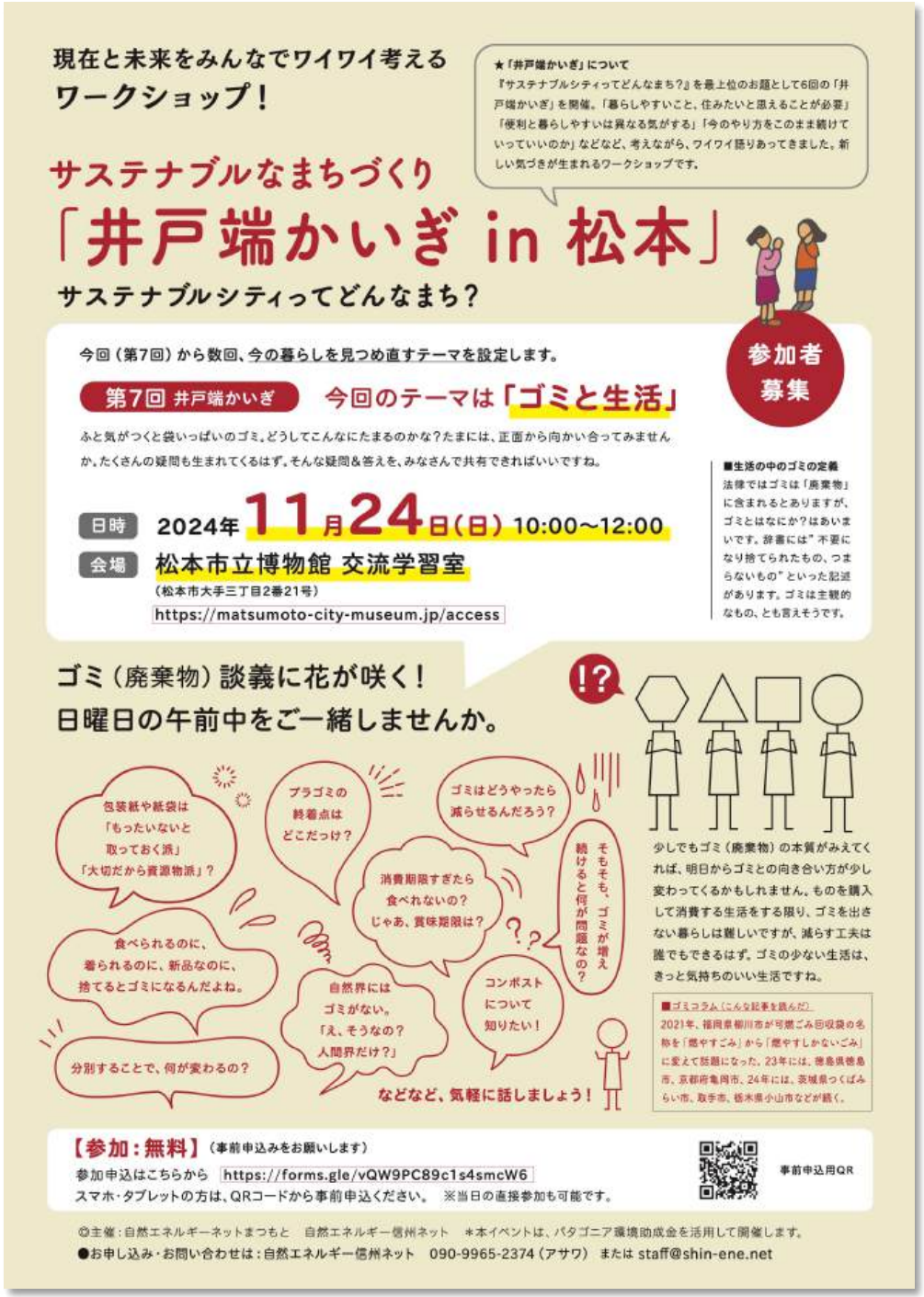
松本エリアの未来をみんなでワイワイ考える
ワークショップ！
どうする松本
「井戸端かいぎ」
サステナブルシティってどんなまち？
参加者募集
第5回 井戸端かいぎ 深掘りテーマは「便利」
日時 2024年7月28日(日) 10:00~12:00
会場 松本市立博物館 交流学習室
便利について考えることで、
生まれる気づきもたくさんありますね。
【参加：無料】

松本エリアの未来をみんなでワイワイ考える
ワークショップ！
どうする松本
「井戸端かいぎ」
サステナブルシティってどんなまち？
第6回 井戸端かいぎ 皆さんからの情報提供！(プレゼン聴講&対話)
日時 2024年9月21日(土)
10:00~12:00
会場 松本市立博物館 講堂
サステナビリティ実現に寄与する取り組みや事例を共有することで、「サステナブルシティ実現」のために、“何をすればよいか、何ができるか”のヒントをぜひ見つけてください。
【参加：無料】

現在と未来をみんなでワイワイ考える
ワークショップ！
★「井戸端かいぎ」について
『サステナブルシティってどんなまち？』を最上位のお題として6回の「井戸端かいぎ」を開催。「暮らしやすいこと、住みたいと思えることが必要」「便利と暮らしやすいは異なる気がする」「今のやり方をこのまま続けていっていいのか」などなど、考えながら、ワイワイ語りあってきました。新しい気づきが生まれるワークショップです。
サステナブルなまちづくり
「井戸端かいぎ in 松本」
サステナブルシティってどんなまち？
参加者募集
今回（第7回）から数回、今の暮らしを見つめ直すテーマを設定します。
第7回 井戸端かいぎ
今回のテーマは「ゴミと生活」
ふと気がつくと袋いっぱいのゴミ。どうしてこんなにたまるのかな？たまには、正面から向かい合ってみませんか。たくさんの疑問も生まれてくるはず。そんな疑問&答えを、みなさんで共有できればいいですね。
日時 2024年11月24日(日) 10:00~12:00
会場 松本市立博物館 交流学習室
（松本市大手三丁目2番21号）
https://matsumoto-city-museum.jp/access
■生活の中のゴミの定義
法律ではゴミは「廃棄物」に含まれるとありますが、ゴミとはなにか？はあいまいです。辞書には"不要になり捨てられたもの、つまらないもの"といった記述があります。ゴミは主観的なもの、とも言えそうです。
ゴミ（廃棄物）談義に花が咲く！
日曜日の午前中をご一緒しませんか。
!?
包装紙や紙袋は「もったいないと取っておく派」「大切だから資源物派」？
プラゴミの終着点はどこだっけ？
ゴミはどうやったら減らせるんだろう？
消費期限すぎたら食べれないの？じゃあ、賞味期限は？
そもそも、ゴミが増え続けると何が問題なの？
食べられるのに、着られるのに、新品なのに、捨てるとゴミになるんだよね。
自然界にはゴミがない。「え、そうなの？人間界だけ？」
コンポストについて知りたい！
分別することで、何が変わるの？
などなど、気軽に話しましょう！
少しでもゴミ（廃棄物）の本質がみえてくれば、明日からゴミとの向き合い方が少し変わってくるかもしれません。ものを購入して消費する生活をする限り、ゴミを出さない暮らしは難しいですが、減らす工夫は誰でもできるはず。ゴミの少ない生活は、きっと気持ちのいい生活ですね。
■ゴミコラム（こんな記事を読んだ）
2021年、福岡県柳川市が可燃ごみ回収袋の名称を「燃やすごみ」から「燃やすしかないごみ」に変えて話題になった。23年には、徳島県徳島市、京都府亀岡市、24年には、茨城県つくばみらい市、取手市、栃木県小山市などが続く。
【参加：無料】（事前申込みをお願いします）
参加申込はこちらから https://forms.gle/vQW9PC89c1s4smcW6
スマホ・タブレットの方は、QRコードから事前申込ください。 ※当日の直接参加も可能です。
事前申込用QR
◎主催：自然エネルギーネットまつもと 自然エネルギー信州ネット ＊本イベントは、パタゴニア環境助成金を活用して開催します。
●お申し込み・お問い合わせは：自然エネルギー信州ネット 090-9965-2374（アサワ） または staff@shin-ene.net

第7回井戸端かいぎ

「ゴミと生活」を語り合う

- ゴミが生まれる裏側にひそむ問題や、ゴミはどうなるの？といった話題で語り合い、もっとゴミの少ない社会にするための気づきを得たい

- 11月24日（日）10:00～12:00
- 松本市立博物館交流学習室
- 参加：誰でもOK、無料